

グラフィックデザイン基礎1

担当教員 奥定泰之・山本哲次

受講アトリエ 【602】

11/29 (木)~12/14 (金)

授業内容

グラフィックデザインやファインアート、イラストなどのジャンルを超えて、ものを作ることの楽しさを体感する。また、タイポグラフィや色面構成などのデザインの基礎を理解した上で、いくつかの小型グラフィック作品を試作する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	指導教員
1	11月29日	木		西洋美術史 準備	○	ガイダンス、課題①の説明	奥定
2	11月30日	金		フランス語 英会話	○	第2課題説明	山本
3	12月1日	土		各自制作 日本語	○	各自制作	山本
4	12月2日	日					
5	12月3日	月		日本美術史 視覚デザイン史	○	課題①プチ講評、課題②の説明	奥定
6	12月4日	火		各自制作		各自制作	
7	12月5日	水	○	各自制作	○	各自制作	山本
8	12月6日	木		西洋美術史 各自制作	○	課題②プチ講評、課題③の説明	奥定
9	12月7日	金		各自制作 フランス語・英会話	○	第2課題プチ講評	山本
10	12月8日	土				特別講座	
11	12月9日	日					
12	12月10日	月		日本美術史 視覚デザイン史	○	制作のチェックと指導	奥定
13	12月11日	火		各自制作		各自制作	
14	12月12日	水	○	各自制作	○	制作のチェックと指導	山本/奥定
15	12月13日	木		西洋美術史 各自制作		各自制作/調整	
16	12月14日	金		各自制作 フランス語・英会話	○	課題③を含めた全体講評	奥定

学習目標

第1課題：見せる、人を驚かせる、人を誘惑する、などの実社会におけるグラフィックデザインの基本的な役割を考えつつ、それを踏まえた小型グラフィック作品を考える。

第2課題：明朝体で表現された文字をデッサンする。

予習・準備物

好きな色や質感の紙を画材屋や紙専門店で購入し、一人5枚以上用意すること。

注意事項

評価方法

提出課題による採点

人物着彩

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ 【901・902・601】

11/16(金)~11/28(水)

授業内容

人体コスチュームモデルを固定ポーズにより描画する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	11月16日	金		制作 フランス語/英会話	○	オリエンテーション	描画材料の決定	
2	11月17日	土		制作 日本語		学生間でのクロッキー	901・902でおこなう	
3	11月18日	日						
4	11月19日	月		日本美術史 視覚文明史	○	モデルによる制作		
5	11月20日	火	○	モデルによる制作	○	モデルによる制作		
6	11月21日	水		モデルによる制作	○	モデルによる制作		
7	11月22日	木		西洋美術史 制作		モデルによる制作		
8	11月23日	金	勤労感謝の日					
9	11月24日	土		制作 日本語	○	中間講評		
10	11月25日	日						
11	11月26日	月		日本美術史 視覚文明史		モデルによる制作		
12	11月27日	火	○	モデルによる制作	○	モデルによる制作		
13	11月28日	水		制作予備日・片付け	○	講評		

学習目標

この授業では、単に人体の再現的描写にとどまらず、それを取り巻く空間との関係性や近代以降の人体表現の在り方を様々な角度から検証する。

予習・準備物

F20号キャンバスもしくはB2パネルに紙

注意事項

評価方法

提出課題による採点

銅版画1

担当教員 大沼正昭

受講アトリエ 【 】

10/31(水)~11/15(木)

授業内容

モノクロ作品を、腐食を利用したラインエッチングで制作します。テーマは自由とします。18×24cmサイズで各自銅版画の技法でどのような表現が可能か探りながら制作してください。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月31日	水	○	ガイダンス・版準備テストプレート	○	テストプレート刷り・技法説明	
2	11月1日	木		西洋美術史 制作		各自トレース・描画開始	
3	11月2日	金		制作 フランス語/英会話	○	腐食・刷りの説明	
4	11月3日	土		文化の日			
5	11月4日	日					
6	11月5日	月		日本美術史 視覚文明史		制作	
7	11月6日	火		制作	○	各自に指導	
8	11月7日	水		制作		制作	
9	11月8日	木		西洋美術史 制作	○	試刷り・制作	
10	11月9日	金		制作 フランス語/英会話		制作	
11	11月10日	土		制作 日本語		特別講座	
12	11月11日	日					
13	11月12日	月		日本美術史 視覚文明史	○	制作	
14	11月13日	火		制作	○	本刷り	
15	11月14日	水		本刷り		本刷り	
16	11月15日	木		西洋美術史 本刷り	○	講評	

学習目標

版上に凹状の窪みを作り凹部にインクを詰め刷りとする技法です。凹部を作る方法として、酸による腐食と直に彫り込む方法とがあります。凹部の深さによって黒の階調が得られます。版を通して個々の表現の可能性を考えます。様々な技法を紹介し、版表現の可能性を探ります。

予習・準備物

版と同サイズ(18cm×24cm)のエスキース、新聞紙、エプロン、ウエス

注意事項

評価方法

課題作品50% 制作態度・積極性・出席50%

シルクスクリーン1

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ 【 】

10/31 (水)~11/15 (木)

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙8枚程度）制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	10月31日	水	○	オリエンテーション・技法説明	○	技法説明		
2	11月1日	木		西洋美術史 制作		制作		
3	11月2日	金		制作 フランス語・英会話		制作		
4	11月3日	土	文化の日					
5	11月4日	日						
6	11月5日	月		日本美術史 視覚文明史		制作		
7	11月6日	火	○	制作	○	色々な摺り方説明・制作		
8	11月7日	水		制作		制作		
9	11月8日	木		西洋美術史 制作		制作		
10	11月9日	金		制作 フランス語・英会話	○	制作		
11	11月10日	土		制作 日本語		特別講座		
12	11月11日	日						
13	11月12日	月		日本美術史 視覚文明史		制作		
14	11月13日	火	○	制作	○	制作		
15	11月14日	水		制作		制作		
16	11月15日	木		西洋美術史 制作	○	講評		

学習目標

シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わせられて改良されたものです。枠に張った紗の目を unnecessaryな部分は塞ぎ、画の孔（穴）の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。

予習・準備物

下絵、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス（ボロ布）、新聞紙、用紙（いづみ中判4枚またはA3厚紙ケント紙8枚分）、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙（なんでも可）

注意事項

初日までに下絵(アイデアスケッチ)を用意すること。

評価方法

提出課題による採点

フレスコ実習

担当教員 杉崎匡史

受講アトリエ 【901】

10/15 (月)~10/30 (火)

授業内容

古典技法としてのフレスコ画技法を模写を通して試みる。物質が変化していく、その体験を目の当たりにしながら、実直に絵と向き合う時間に身をゆだね、その中で自身の展開に繋がられるのか考えてみる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月15日	月		日本美術史 視覚文明史	○	オリエンテーション・モルタル作り	
2	10月16日	火		原画選択・原画拡大	○	モルタル再練り・地塗り	
3	10月17日	水	○	カルトーネ(原寸下絵)穴空け		カルトーネ(原寸下絵)穴空け完成	
4	10月18日	木		西洋美術史 制作	○	モルタル再練り・中塗りシノピア	
5	10月19日	金		制作 フランス語・英会話	○	モルタル再練り・上塗り①	
6	10月20日	土		制作 日本語	○	モルタル再練り・描画①	
7	10月21日	日					
8	10月22日	月		日本美術史 視覚文明史		モルタル再練り・上塗り②	
9	10月23日	火		モルタル再練り・描画②	○	描画②続き 上塗り③	
10	10月24日	水		モルタル再練り・描画③	○	描画③続き 上塗り④	
11	10月25日	木		西洋美術史 制作		モルタル再練り・描画⑤・上塗り⑥	
12	10月26日	金		制作 フランス語・英会話		モルタル再練り・描画④・上塗り⑤	
13	10月27日	土		制作 日本語		描画⑥	
14	10月28日	日					
15	10月29日	月		日本美術史 視覚文明史		モルタル再練り・描画⑦・上塗り⑦	
16	10月30日	火		上塗り⑧・描画⑧・片付け	○	講評会	

学習目標

油彩画以前の一つの古典技法であるフレスコ画技法は、消石灰と砂を混ぜたもので漆喰壁を作り、その壁が乾き切らぬうちに顔料を水のみで溶いて描ききるもので、空気中の二酸化炭素と反応した石灰成分が顔料を閉じこめ、半永久的に壁画は色褪せることがない。壁や石灰といった素材の強さにおいては代え難いものがあり、光沢の無い自然な質感や、制約の中で必要とされる高い集中力、五感だけでなく身体を目一杯使って体感することなど、その中に潜む一つの可能性を探求する。

予習・準備物

プチパレット、ペーパーパレット、やわらかい丸筆平筆、彩色筆、刷毛(小)、面相筆(豚毛不可)など、筆洗用具(大)、汚れても良い服装。ティッシュペーパー箱、ペインティングナイフ(プラスチック不可)、ワンチン棒、ハンドクリーム

注意事項

制作工程を踏まないとフレスコになりません

評価方法

提出課題による採点、制作への工夫、共同作業への積極的な参加

テンペラ画

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ 【602】

10/15 (月)~10/30 (火)

授業内容

木材板の基材に地塗りをしてパネルを作る。卵テンペラ（水性画材）をつくり、描画材として絵画模写をする。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月15日	月		日本美術史 視覚文明史	○	オリエンテーション、下地作り、下絵	予め描きたい図版用意
2	10月16日	火	工藤	トレース、ボーロ	工藤	箔はり	
3	10月17日	水		箔はり		箔はり	
4	10月18日	木		西洋美術史 制作	○	黄卵メディウムを製作	学生の進み具合により翌日の内容を繰り上げも有り
5	10月19日	金		制作 フランス語・英会話	○	制作	
6	10月20日	土		制作 日本語		制作	
7	10月21日	日					
8	10月22日	月		日本美術史 視覚文明史	○	制作	
9	10月23日	火		制作		制作	
10	10月24日	水		制作	○	描画指導	
11	10月25日	木		西洋美術史 制作	○	描画指導	
12	10月26日	金		制作 フランス語・英会話	○	描画指導	
13	10月27日	土		制作 日本語		制作	
14	10月28日	日					
15	10月29日	月		日本美術史 視覚文明史	○	描画指導	
16	10月30日	火		制作	○	講評会	

学習目標

中世美術からルネッサンス期を経て現代にまで受け継がれてきた卵テンペラ技法を学ぶ。卵で作る絵具の造形の自由さ、楽しさを学ぶ。ここでは技法と描写の関係を理解し、絵画表現の幅広い可能性を追求する。絵画模写をしながらテンペラ技術の基礎と応用を修得する。

予習・準備物

面相筆、細筆、絵皿、鉛筆

注意事項

評価方法

提出課題による採点と授業態度も評価に加味する（作品評価50点 授業態度50点 合計100点満点）

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

イラストレーション

担当教員 飯田淳、岡山拓史

受講アトリエ 【602】

10/1 (月)~10/12 (金)

9:00~12:10/13:00~16:00

授業内容

イラストレーションの仕事において求められる事・物を企画。アイデアを通して学ぶ。イラストレーションのマーケットでのオリジナリティー、個性の重要性を作品制作で体験する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月1日	月		日本美術史 視覚デザイン史	○	オリエンテーション	飯田、岡山
2	10月2日	火		制作	○	制作	a.m.助手、p.m.飯田
3	10月3日	水	○	制作	○	制作	岡山
4	10月4日	木		西洋美術史 制作	○	制作	岡山
5	10月5日	金		制作/フランス語・英会話	○	制作	飯田
6	10月6日	土		制作/日本語		制作	p.m.助手
7	10月7日	日					
8	10月8日	月		体育の日			
9	10月9日	火	○	制作	○	制作	岡山
10	10月10日	水	○	制作	○	制作	a.m.飯田、p.m.岡山
11	10月11日	木		西洋美術史 制作	○	制作	飯田
12	10月12日	金		制作/フランス語・英会話	○	プレゼン・講評	飯田、岡山

学習目標

イラストレーションの仕事と自分らしい表現の発見。

予習・準備物

鉛筆、着彩道具、クロッキー帳等

注意事項

評価方法

課題提出による採点

前期ファインアート科授業

担当教員 工藤礼二郎、鈴木吐志哉

受講アトリエ [901・902]

9/5(水)~9/28(金)

授業内容

「色彩を中心に描く」「装飾性を活かす」「多視点と再構成」「もう一つの世界（フォトコラージュ）」「落書きは絵になるか」これら5つのキーワードにそって近代の名作をひも解きながら様々な色材を使って描きます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	9月5日	水		色彩論	S・K	ガイダンス		
2	9月6日	木		「色彩を中心に描く」		「色彩を中心に描く」		
3	9月7日	金		制作 (フランス語・英会話)		「色彩を中心に描く」		
4	9月8日	土		制作 (日本語)		伝統		
5	9月9日	日						
6	9月10日	月		日本美術史・文章技法論	S・K	「色彩を中心に描く」	pm3:30~講評	
7	9月11日	火	S	「装飾性を活かす」	S・K	「装飾性を活かす」		
8	9月12日	水		色彩論	K	「装飾性を活かす」		
9	9月13日	木		「装飾性を活かす」		「装飾性を活かす」		
10	9月14日	金		制作 (フランス語・英会話)	S・K	「装飾性を活かす」	pm3:30~講評	
11	9月15日	土		制作 (日本語)		伝統		
12	9月16日	日	創立記念日					
13	9月17日	月	敬老の日					
14	9月18日	火	S	「多視点と再構成」	K	「多視点と再構成」		
15	9月19日	水		色彩論		「多視点と再構成」		
16	9月20日	木	S	「多視点と再構成」		「多視点と再構成」		
17	9月21日	金		制作 (フランス語・英会話)	S	「多視点と再構成」	講評は28日に行います。	
18	9月22日	土		制作 (日本語)		特別講座		
19	9月23日	日	秋分の日					
20	9月24日	月	振替休日					
21	9月25日	火	K	「フォトコラージュ」	K	「フォトコラージュ」	pm3:30~講評	
22	9月26日	水		色彩論		「落書きは絵になるか」		
23	9月27日	木		「落書きは絵になるか」	S	「落書きは絵になるか」		
24	9月28日	金	S・K	「落書きは絵になるか」	S・K	講評		

※指導欄 S：鈴木 K：工藤

学習目標

現代の絵画や版画に強い影響を与えた西洋近代絵画の種々の表現に触れ、絵に対する視野を広げながら描くことの楽しさを見つける授業です。

予習・準備物

水彩、アクリル、油彩用具など必要に応じて準備する

注意事項

評価方法

1年 ビジュアルデザイン科

前期ビジュアルデザイン科授業

担当教員 山本哲次、岡山拓史

受講アトリエ [401・602]

9/5(水)～9/28(金)

授業内容

- 好きなアーティストのCDジャケットをオリジナルでデザインします。
- さらに、そのCDを告知するポスターを作ります。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	9月5日	水		色彩論	○	オリエンテーション	山本	
2	9月6日	木	○	制作	○	制作	岡山	
3	9月7日	金		制作 (フランス語・英会話)	○	制作	山本	
4	9月8日	土		制作 (日本語)		伝統	山本・岡山	
5	9月9日	日						
6	9月10日	月		日本美術史・文章技法論	○	制作	岡山	
7	9月11日	火	○	制作	○	制作	岡山	
8	9月12日	水		色彩論	○	制作	山本	
9	9月13日	木	○	制作	○	制作	岡山	
10	9月14日	金		制作 (フランス語・英会話)	○	制作	山本	
11	9月15日	土		制作 (日本語)		伝統	山本・岡山	
12	9月16日	日	創立記念日					
13	9月17日	月	敬老の日					
14	9月18日	火	○	制作	○	制作	岡山	
15	9月19日	水		色彩論	○	制作	山本	
16	9月20日	木	○	制作	○	制作	岡山	
17	9月21日	金		制作 (フランス語・英会話)	○	制作	山本	
18	9月22日	土		制作 (日本語)		特別講座	山本・岡山	
19	9月23日	日	秋分の日					
20	9月24日	月	振替休日					
21	9月25日	火	○	制作	○	制作	岡山	
22	9月26日	水		色彩論	○	制作	山本	
23	9月27日	木	○	制作	○	制作	岡山	
24	9月28日	金	○	制作	○○	講評	山本・岡山	

学習目標

イラストや文字情報を限られたスペースの中に収めながら、音楽から受けるイメージを広げて、ビジュアルで表現することを学びます。

予習・準備物

イラストを描くための道具(*学校からの貸し出しも行います)

注意事項

評価方法

課題提出による採点